氏 名 小出 祐嗣授与した学位 博 士

専攻分野の名称 医 学

学位授与番号 博 甲第 6765 号 学位授与の日付 2023 年 3 月 24 日

学位授与の要件 医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻

(学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目 The Association of Triglyceride to High-Density Lipoprotein Cholesterol Ratio with High-Risk Coronary Plaque Characteristics Determined by CT

Angiography and Its Risk of Coronary Heart Disease

(冠動脈 CT で判定された高リスク冠動脈プラークの特性とトリグリセリド

/高密度リポ蛋白コレステロール比の冠動脈心疾患リスクとの関連性)

論 文審 查 委 員 教授 笠原真悟 教授 大月審一 准教授 江口 潤

## 学位論文内容の要旨

TG/HDL-C 比は、心血管イベントの独立したリスクインデックスである。本研究の目的は、TG/HDL-C 比と、冠動脈 CT(CCTA)により決定される心血管イベントの可能性を高める冠動脈プラークの特性との関連を評価することである。冠動脈疾患(CAD)が疑われ CCTA を受けた患者 935 名(平均年齢;64歳、男性;55%)を対象とした。高リスクプラーク(HRP)は、ポジティブリモデリング(PR)、低密度プラーク(LDP)、スポット状石灰化(SC)の3 つの特徴によって定義した。有意な狭窄は内腔の70%以上の狭窄と定義した。TG/HDL-C 比が高い患者は、低い患者に比べ、HRP と有意な狭窄の有病率が有意に高かった(p<0.01)。多変量ロジスティック解析では、TG/HDL-C 比は HRP の存在と有意に関連したが(p<0.01)、有意な冠動脈狭窄の存在は認められなかった(p=0.24)。追跡期間中央値4.1年の間に78件の心血管イベントが発生した。TG/HDL-C の最高三分位は、最低三分位を基準として心血管イベントと関連していた(ハザード比、2.28;95%信頼区間、1.18-4.36)。高 TG/HDL-C 比は、CAD が疑われる患者において心血管イベントにつながる可能性のある CCT で確認された HRP の存在と関連していた。

## 論文審査結果の要旨

TG/HDL-C 比と、冠動脈 CT (CCTA) により決定される心血管イベントの可能性を高める冠動脈プラークの特性との関連を評価することである。冠動脈疾患 (CAD) が疑われ CCTA を受けた患者 935 名 (平均年齢; 64 歳、男性; 55%) を対象とした。高 TG/HDL-C 群では、アテローム性 TG リッチリポタンパクが多く、冠動脈 CT で検証された high risk plaque の存在と有意に関連していた。CAD が疑われる患者においては、TG/HDL-C 比が高い症例が心血管イベント発生率が高いことがわかった。したがって、この TG/HDL-C 比は CAD のバイオマーカーとなる可能性が示唆されたと結論づけられた。

予備審査における疑問点、問題点:比較的以前の患者データに基づいた解析であり、CCTAの画像評価が不十分であった可能性もあった。また、TG/HDL-C 比において、TG は変動が大きく、比較的低い値でも、HDL-Cがより低ければこの数値が低いつまり正常に近くねり、大きく結果に影響するものと考えられた。しかしながら、空腹時採血が全ての症例になされていることから、この変動も想定内であるとの結論に達した。今回の研究から、現在の問題点の明確化やさらなる研究成果の期待ができ、重要な研究成果と考えられた。この研究は価値ある業績と認められた。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める